

事業計画書(その1)

<p>団体の目的</p> <p>「玉島茶室文化の継承と発展」の実現を目指し活動すること</p>
<p>事業の分野</p> <p>保健，医療又は福祉の増進　社会教育の推進　まちづくりの推進 観光の振興　農山漁村又は中山間地域の振興　☑学術，文化，芸術又はスポーツの振興 環境の保全　災害救援　地域安全　人権の擁護又は平和の推進　国際協力 男女共同参画社会の形成の促進　子どもの健全育成　情報化社会の発展 科学技術及び学術の推進　経済活動の活性化　職業能力の開発及び雇用機会の創出 消費者保護　団体の運営又は活動に関する連絡，助言又は援助</p>
<p>事業の概要</p> <p>玉島地区の茶室調査結果を写真パネルにして展覧会と講演会及び茶会を行う。それらをとおして、江戸末期から玉島の町人たちの間に浸透しているお茶室文化の価値を共有し、茶室で培われた「おもてなしの心」を大切に守っていく。</p>
<p>社会的背景と解決しなければならない課題</p> <p>かつて 400 もあったといわれている玉島の茶室が、今でも 40 程度は残っているといわれます。しかしながら、戦火を免れ、気候にも恵まれた、その貴重な茶室も時間の経過で老朽化し、少しずつ倒され、失われつつあります。港町にこれだけの茶室があるのはめずらしく、これを「茶室群」として捉え、玉島の歴史文化の厚みの一つとして発信することで、茶室の保護や修復、新たな活用へと繋げていきたい。お茶に興味のない方にも、お茶席体験等をとおして町屋に残る歴史文化への興味を広げ、地域の多くの方々とそれぞれの茶室の資源的価値を共有し、その継承と発展の機運向上を図る。</p>
<p>受益者の範囲</p> <p>お茶の文化に馴染みのないファミリー層等を含め、お茶室文化に興味ある方々</p>
<p>事業の成果</p> <p>茶室の現地調査を通して、玉島の茶室のデータベースを作り展覧会、講演会、茶会等を開催し、茶室の保護や修復、その新たな活用へと繋げて行く。 当時の写真や茶会記等の資料調査を通して、交流関係など、忘れられていた歴史や物語が掘り起こされることで、お茶文化の面白さを理解していただけるきっかけになると考える。また、お茶に日頃馴染みのない方々にも、お茶会を体験していただくことで、茶文化の根底にある「おもてなしの心」を感じ、その大切さを理解していただく。</p>
<p>事業の目標</p> <p>平成 28 年度も池田先生に新たな茶室調査を 5、詳細な茶室調査を 5 程度、お願いし、データベースを作成する。また、その茶室に残る茶会記等の史料の調査を井上先生にお願いし、両方の成果を展覧会として発表する。その成果を発表する展覧会中に、講演会や茶会を開催。今回は特に、お茶に馴染みのない方々、ファミリー向けの茶会を開催する。をまた、調査した茶室の中から、公開できる茶室で茶室体験を行う。</p>

事業計画書(その 2)

事業の詳細

* 実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

平成 28 年

4 月 ~ 7 月 写真撮影と聞き取り調査 平田家他 3 軒

8 月 ~ 9 月 池田先生による詳細調査 桐岡家他 4 軒

10 月 写真撮影と聞き取り調査 牧家 (交渉中)
井上先生に資料の調査

11 月 19 日 ~ 23 日 「玉島茶室巡り vol.3 玉島伝来の茶室と茶道具」展
19 日・20 日 初心者向け茶会(ファミリー券を 20 枚発行を含む)
19 日 池田先生と井上先生による講演会
23 日 正式な茶会
玉島の茶室体験 (日程未定)

写真撮影と聞き取り調査 小松和夫氏による茶室写真撮影と茶室群研究会のメンバーにより、茶室について、いつ頃誰によって建てられたか、修理はされたか、昔の写真は残っていないか、どんな人たちとの交流があったか、何か言い伝えは残っていないか、等々の聞き取りをする。

池田先生による詳細調査 写真撮影と聞き取り調査の後、池田先生による茶室の測量、材料の調査、前もってされた聞き取り調査の確認等を行う。

井上先生による調査 茶室調査中に出てきた資料等をお渡しし、分析していただく。

受益者負担 団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

* 参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

* 「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

事業計画書(その 3)

事業の見通し

現在お茶の心得のない方にも興味を持っていただけるよう、今残る玉島の茶室の価値を共有していただけるよう努めながら、新たな茶室の利用法等考えていきたい。

団体の能力の活用

* 団体の持つ能力や特色を、課題の解決にどう活かしていきますか。

玉島茶室群研究会は、10 年以上展覧会、コンサート、講演会等を行ってきた遊美工房を母体としており、玉島の様々な茶室の情報が集まりやすく、人々のご協力も得やすい。茶室研究会の会員は、全員遊美工房のスタッフとして活動しており、倉敷市の住民でもあるため当事者意識が高い。

他団体等との協力

* 他団体等と協力して事業を行う場合は、その団体名や役割を記入してください。

行政との協働 自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名 () 主部署の同意 (あり ・ なし)

その他の部署名 (,)

協働する部署との協議

月 日 (内容 :)

月 日 (内容 :)

月 日 (内容 :)

協働する部署の役割

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	234,000	茶券売上 600 円 × 180 1,100 円 × 20 講演会 参加料 1,000 円 × 50 茶室体験 4,500 円 × 12
会費からの繰入金	5,000	
そ の 他	109,000	遊美工房
市補助金	300,000	
合 計	648,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経 費 (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	44,000	展覧会時アルバイト代 1 日 2,000 × 22
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)	28,000	茶会・講演会手伝いアルバイト 1,100 × 25
	謝 金 (講師等に支払うもの)	130,000	講演会謝礼・資料作成料 初心者向け茶会講師料(道具等賃貸料を含む) × 2 日
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	70,000	詳細調査 35,000 × 2
	消耗品費	90,000	展示パネル作成費、展示用写真代、インク、封筒、文具
	印刷製本費	90,000	DM・茶券・チラシ印刷代及びデザイン料・資料代
	通信運搬費	26,000	郵送料 72 円 × 350 52 円 × 12
	保険料		
	使用料, 賃借料	24,000	茶室使用料 12,000 円 × 2
	委託料		
	小計	502,000	
経 費 (対象外経費)	報償費・人件費		
	食糧費	146,000	茶会・講演会等菓子代 抹茶・黒文字・懐紙代
	その他		
	小計	146,000	
合計	648,000		

(記入上の注意)

団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、申込み前に事務局に相談してください。
 実施可能な経費，内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
 内容欄には，単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。
金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。